

この世界のこの狂乱の連続は何を意味するか？

Greatchain

2020/06/28

今世界的に、大きな混乱や暴動があり、混沌としていることは確かだが、我々の頭が混乱して、何も考えられなくなったということではない。連日更新中の GeoengineeringWatch の Dane Wigington 氏によると、我々の着用するマスクは無用であるだけでなく、かえって有害だという有力な見方が、数多く出ているらしい。

SOTN の最近の記事にも「本当に病気になる前にマスクを外しなさい」という見出しの下に、懇切なその理由が書かれている。「医療の仕事をしている人々と、ハイリスクの環境にいる場合は別として、誰もマスクを着用すべきではない」とそれは言い、「ほとんどのマスクは非常に健康に悪く、かえった病気を助長する場合がある。それはなぜか？」と問いかけている。そこには、かなり根拠のある理由があるように思える。私はこれを信ずべきだとは言わないが、専門家からの（おそらく抑圧された）いろんな意見は聞くべきである。

そこで問題は、そのような疑いが生じているときに、あの悪名高いジョー・バイデンが、こんなことを言っていることである（NeonNettle ニュース）――

「バイデンが、アメリカ人に対し、公衆の間でのマスクの着用を強制すると言明――民主党大統領指名者が、大統領として米連邦権力を行使すると誓う」



これは少し、おかしな感じがしないだろうか？ バイデンは現在、明らかに考える能力を失っている（トランプは、彼は2つのセンテンスを繋げられないと言っている！）。その彼が、自分で考え出して、自分の意志でこんなことを言うだろうか？ しかも、マスクごと

きを勧めるのに、大統領が全国民に強い命令を下して、こんな決定をするだろうか？ これは馬鹿げているが、これは今、アメリカが、そんなことを言わねばならないほどに、狂っているという証拠である。この強制された官製マスクを、疑問もなしにかける者がいるだろうか？

同じ馬鹿げたなことを、BLM の創設責任者だという、あの極左の黒人女性も言っている。彼女は、トランプを「今直ちに追い出すべきだ」と言い、その権限をもっているかのように言っている――



これは異常だが、この異常さが更に別のところでも起こっている：――米大統領や司法長官からテロリストに指定された「アンティファ」を、国連がことさら支援していることだ。

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/200623.pdf> の

そしてさらに、この国連の事務総長だというアントニオ・グテーレス（下）が、こういう発言をしている。記事をよく読んで理解していただきたい：――「国連チーフ：〈グローバル統治〉難問の〈国益〉の解決法――アントニオ・グテーレスいわく、政府はもはや唯一の政治権力ではない」



「国連事務総長アントニオ・グテーレスは言った：——世界は、難問となる〈国益〉を取り除くことのできる、全体を覆うような、多面レベルの統治を必要としている。」

これは明らかに、国家主義あるいは国家主権を廃止し、いわゆる「一世界政府」One World Government あるいは New World Order の樹立を目指す、イルミナティのアジェンダのことを言っている。これに、Black Lives Matter の黒人女性の左翼イデオロギーである「家庭廃止」と、あと2つ「私有財産の廃止」と「宗教（特にキリスト教）の禁止」を盛り込むならば、完全なマルクス主義の理想世界が出来上がる。我が国も、国連の一員である以上、「国益」も国家も解消され、奴隷国家となるはずである（彼らは発展と言うだろうが）。

...

「そして我々（国連）は、一つの包括的な多面主義を必要とし、市民社会、ビジネス、都市、地域、そして特に、より大きなウエイトを、若者たちの声に置くことが、より不可欠な貢献となるだろう。」

この「若者たちの声」というところに注目すべきである。これは明らかに、彼らにとって必要不可欠な、**反ランプ・テロリスト要員**（ソロスの出資と言われる）のことである。今、旧「イスラム国」が、またぞろ動き出したと言われるが、これも国連にとっては「必要な若者」であろう。

この国連事務総長や、バイデン副大統領は、彼らに気に入られ、彼らの計画通りにしゃべるから重宝されるのであって、もちろん勝手にしゃべっているのではない。

しかし、この兩人にせよ、BLM の共産主義指導者にせよ、彼らを操る者たちは、相当に破れかぶれにならなければ、こんなことはできないと思われるが、どうだろう。

EU（欧州連合）にひびが入り、次第に分裂していくのも、その一つの勢いである。イタリアでそれが今、起こっている：——「**イタリアが、コロナウィルス反応をめぐり、グローバリズムに反対して立ち上がる：EU 脱退を要求**——イタリアで、EU に対して怒りが高まり、ポルトガルとスペインもまた、このブロックを叩き始める」



「イタリアで、コロナウィルスの死亡者がうなぎ登りとなり、現在、11,500をはるかに超えており、イタリア人はグローバリズムに対して立ち上がり、中国のウィルス・パンデミックへのEUの反応をめぐって、EUからの離脱を要求している。」

そこで、EUもアメリカも、思い通りにしようとする大物は、ジョージ・ソロスだが、ソロスを憎んで、彼の逮捕を要求する請願書はますます膨れ上がっている。

「ジョージ・ソロスをテロリストと宣言し、彼の財産のすべてを差し押さえるように要求する請願書が、広く拡散している——このリベラルの億万長者に対して行動を要求するホワイトハウスへの請願書の署名が、21万5000を超えている」

「公的なホワイトハウス・ウェブサイト管理される〈我々人民〉の請願書が、ソロスの組織の財産を、RICO法の下に、合衆国政府によって差し押さえよと呼びかけている。」

しかし、敵もさるもので、これに対してソロスは対抗措置を繰り出してきたという。



「ジョージ・ソロス資金による集団が、600 万のヒスパニックの投票者を繰り出してトランプを敗北させることを誓う——〈結束して夢を実現〉党の活動家が、メンバーの〈パワーアップ〉を宣言」

こんなことが可能なのかわからない。ヒスパニックの群衆が給料をもらい、暴徒になってトランプを倒すことができるのだろうか？ しかし何らかの成算はあるものと思われる。いずれにせよ、現在、世界では、このようなキチガイ沙汰が、次々と起こっており、対応しきれないほど目まぐるしく動いている。以上はその動きのほんの一部で、NeonNettle のニュース等を組み合わせて構成したものである。